

第162号

平成13年
(2001年) 9月議会

ふなばし 市議会だより

発行 船橋市議会
編集 広報編集委員会

船橋市湊町2-10-25
電話 047(436)3012

<http://www.city.funabashi.chiba.jp/gikai/index.html>



行田公園で行なわれた秋の交通安全フェスティバル



○助役
砂川 俊 哉 (42)

定例会最終日に助役の選任、教育委員会委員の任命、公平委員会委員の選任、監査委員の選任、固定資産評価審査委員会選任の同意を求める議案が提出され、議会はこれに同意しました。

人事案件



○助役
平丸 藏 男 (55)

昭和五十八年警察庁入庁後、同庁長官官房装備課理事官、同庁警備局公安第一課警護室長、総務省大臣官房付自治行政局行政課併任などを歴任

○教育委員会委員
砂田 清子 (60) 再任
○公平委員会委員
阿部 三郎 (75) 再任
○常勤監査委員
堀内 清彦 (59)

昭和三十七年入所、議事課長、総務部参事、議事事務局長などを歴任

○固定資産評価審査委員会委員
松本 昌道 (70) 再任

昭和四十三年入所、都市計画課長、人事課長、総務部参事、

二重川改修費など 一般会計 3 億 5 千万円余を補正 三番瀬調査研究特別委員会を設置

第3回定例会

平成十三年第三回定例会は、九月三日から九月二十一日までの十九日間の会期で開かれました。初日には、市長から提出された十一議案の説明があり、これに対する質疑を、七日に五人の議員が行いました。

また、十日から四日間、一般質問が行われ、二十二人の議員が市政全般について質問いたしました。

さらに、十七日には常任委員会が開かれ、付託された議案及び陳情の審査が行われました。

最終日には、市長提出議案、議員提出議案、陳情及び追加提出された人事案件などを議決したほか、平成十二年度の各会計決算を閉会中に審査するための決算特別委員会を、また、三番瀬調査研究特別委員会を設置し、閉会いたしました。

主な記事

議案の概要	議案提出の条列案	可決された意見書	議案議決結果一覧表	陳情議決結果一覧表	議案に対する質疑	議案の経過	常任・特別委員会の動き	一般質問(緑政会・公明党・日本共産党・市民連合・市議会・小さな声ネットワーク・新風・ふなばし21・無所属)
	2						4	5~8

議案に対する質疑

市民連合

第一号について

問 当初予算で措置しなかった理由は、

答 当初予算に加えて、さらに国・県補助金が増額されたため。

問 二重川改修工事進捗は当初見込みどおりか。

答 当初計画より若干進んでいる。

第二号について

問 保険料算定に誤りはなかったか。

答 高齢者人口推計、所得調査等に基づき算定したもので、適切である。

問 近隣各市の国庫負担金等返還額は、

答 千葉市・五億四千万、柏市・二億三千三百万、松戸市・二億二千三百万等。

第三号について

問 第二条七項は条例の議会議決方式の否定ではないか。

答 本案議決により、議会議決が市長に委任される。同項中「市長が適当でない」と認める想定事例は、答 例えは法令引用等の場合、

清新会

第一号について

問 二重川の改修工事に当たり、道路管理者の本市と白井市が分担分の事業費を負担する根拠は何か。

答 河川法第六十八条の規定により、両市の道路管理者の間で基本協定を締結し、六分の二ずつ負担している。

第六号について

問 設置の経緯と、周辺住民

問 この際、条例の整理統合をすべきではないか。

答 大分類あるいは階層分類等について今後研究する。

第六号について

問 管理を船橋ころの福祉協会に委託する理由は、

答 同等事業の実施、相談業務等豊富な経験、病院等との連携等から判断した。

第七号について

問 都市基盤整備公団が行う市内事業の市内業者受注状況は、

答 十一年度二社、十二年度一社。

問 前原団地建て替え事業の市内業者受注状況は、

答 十二年度三社。

問 同公団に市内業者限定公募入札方式を要請すべき。

答 今後も市内業者の入札参加機会確保を要請していく。

第八号・第十号について

問 入札に当たり、一般公募抽選指名方式を導入すべき。

答 同方式のほか、インターネット公告、郵送入札等も検討する。

第十一号について

問 公団管理職員・指導員等に占める市内在住者割合は、

答 六八％。

の理解の有無について伺う。

答 船橋市精神保健推進協議会の提言により設置された。この地域で同様の事業を数年間行っており、周辺住民の理解は得ていると考える。

第七号について

問 区画整理内の下水管で取り込める周辺区域と、工事着手計画について伺う。

答 坪井町、習志野台七・八丁目の一部が対象で、区画整理地内の下水道施設整備にあわせて整備していく。

第八号及び第九号について

日本共産党

第一号について

問 二重川の改修後の姿はどうなるのか。

答 護岸の勾配を緩やかにし、中洲を創出するなど、河川環境の多様化を図りたい。

第二号について

問 介護保険は、改善すべき点が多いのではないかと、

答 低所得者の利用料軽減策をさらに充実させるべく、研究・検討したい。

第四号について

問 税収減につながる条例改正に、何を期待するのか。

答 経済情勢が上向けば、よい影響が出るかと期待する。

第五号について

問 放課後ルームの未開設校の早期開設を図れないか。

答 十五年四月に実施したい。手狭になった大規模ルームの改善及び小学校4年生以上の受け入れはどうか。

答 児童の推移を見ながら検討する。また、定員に余裕があれば許可している。

第六号について

問 支援センターの内容は、

問 西浦処理区の①全体計画面積、②整備面積、③今後五カ年の整備計画を伺う。

答 ①一、一三二ヘクタール、②四九二ヘクタール、③海神三・五丁目、西船二・三・五・七丁目、印内二丁目、東中山一・二丁目、本中山一・三丁目、二子町、本郷町の整備を進める予定。

第十号について

問 昼夜連続工事による騒音等の環境対策はどうするか。

答 工事基地を防音ハウスで囲み、騒音の低減を図る。

問 利用者の支援や相談、憩いの場や情報提供、関係機関との連絡調整を行う。

第八号・第十号について

問 落札率が高いので、横須賀市のように郵送による入札など、入札制度の改善に取り組まないのか。

答 横須賀市のような方法も取り入れ、談合防止・事務の省力化を図りたい。

問 談合の温床になる指名競争入札を廃止しないか。

問 成果を見た上で評価する。地域経済の活性化を図る観点から、入札参加資格を市内業者に限らないか。

答 中身によっては、市内業者だけの発注もある。

第十一号について

問 産業廃棄物が投棄されていた場所であり、今までの安全だという検査結果を根拠にして問題はないのか。

答 環境基準を下回っている。支障ないと判断したので、離れている井戸の検査では安全性が保たない。廃棄物が埋められた底の部分で検査すべきではないか。

答 当面は心配ないと思うが、適当な部分で調査を続けるのがベターだと思う。

問 工事車両が通過する際の、歩行者・自転車等への安全対策は大丈夫か。

答 隣接地を借地した迂回路の設置や交通整理員の配置等により、歩行者の安全に努めるとともに、緊急車両等の対応にも注意を払う。

第十一号について

問 買収地をどう使うのか。

答 チビッコ牧場及び湿性植物園エリアへの導入部分として利用する。

問 過去に廃棄物投棄等あった土地だが、支障はないか。

問 条例をインターネットで公開する際に、法令用語の解説とリンクさせないか。

答 わかりづらい面もあるので、一語一語リンクするか、辞書的なものを用意するか、今後の研究としたい。

第五号について

問 学校内に併設していくので、おやつ代等の保護者からの預り金の管理は、銀行振り込みを含めて、学校と一括管理できないか。

答 学校との管理区分が明確に分かれており、難しい問題があるが、安全に徴収できる方法を検討したい。

第七号・第十号について

問 下水道完成対象地域の市民にいろいろな選択肢を示し、他の事業を含め、その優先度・必要性についてアンケートをとらないか。

答 下水道事業は市民要望も強く、また浸水被害の防除・水質保全等のため、整備拡大に全力で取り組んでいる。下水道計画を定めるに当たっては、利害関係人の意見を聞いている。説明を行い、意見を聞きながら事業を進めており、現状で支障はないことから、改めて行う意思はない。

問 溢水対策は、下水道でなければ対応できないのか。

答 他の方策での対応も含め、この地域がどう考えているか聞くべきではないか。

問 平成十五年度に全小学校区で開設する計画であり、その後、諸条件の整った施設から学校に移転できるように、検討していきたい。

第六号について

問 使用要件の確認はどのようにするのか。

答 施設利用者に申請時に医師の意見書を添付してもらい、精神保健福祉相談員が面接をする。この結果等を踏まえ判定会議を行う。この建物は安全対策上、問題は無い。

問 この建物は安全対策上、問題は無いのか。

答 消防局と協議し万全を期しており、避難はしこや避難路等を確保している。

第七号について

問 契約金額の積算根拠は、

答 市と都市基盤整備公団において設計の打ち合わせを行い、設計基準は、国の基準をもとにしている。

第八号及び第九号について

問 処理場内の処理水のリサ

小さな声 ネットワーク

第三号について

問 条例をインターネットで公開する際に、法令用語の解説とリンクさせないか。

答 わかりづらい面もあるので、一語一語リンクするか、辞書的なものを用意するか、今後の研究としたい。

第五号について

問 学校内に併設していくので、おやつ代等の保護者からの預り金の管理は、銀行振り込みを含めて、学校と一括管理できないか。

答 学校との管理区分が明確に分かれており、難しい問題があるが、安全に徴収できる方法を検討したい。

公明党

第三号について

問 市民がインターネットで例規集を見られるようになるのはいつごろか。

答 来年の一月末を予定。

第五号について

問 学区外や民間施設で整備済みのところは、学校内への移設が望ましいが。

答 土壌・水質調査の結果から支障はないと判断して、都市計画公園区域に含め、国庫補助対象の都市公園事業として用地を取得する。

問 市がインテリネットを例規集を見られるようになるのはいつごろか。

答 来年の一月末を予定。

第五号について

問 学区外や民間施設で整備済みのところは、学校内への移設が望ましいが。

答 土壌・水質調査の結果から支障はないと判断して、都市計画公園区域に含め、国庫補助対象の都市公園事業として用地を取得する。

問 市がインテリネットを例規集を見られるようになるのはいつごろか。

答 来年の一月末を予定。

会議の経過

九月三日(月)

○開会

○会期の決定

○議案の提案説明

○行政報告(学校職員の懲戒処分について)

七日(金)

○議案に対する質疑

○議案の付託

○行政報告に対する質疑

十日(月)

○一般質問

十一日(火)

○一般質問

十二日(水)

○行政報告(台風十五号の通過に伴う状況について)

○一般質問

十三日(木)

○一般質問

○陳情の付託

○議員提出条例案の説明・付託

十七日(月)

○常任委員会

十八日(火)

○予算特別委員会

二十一日(金)

○付託事件の審査報告及び採決

○議員提出議案の採決

○人事議案の提出・採決

○決算の説明・付託

○三審制調査研究特別委員会の設置

○行政報告(元国民健康保険料収納員による保険料の着服事件について)

○閉会

各委員会の動き

総務委員会

審査事件

議案2案

審査の概要

第3号は、「ホームページで申請書をダウンロードすることも含め、市民が使いやすいものにしてもらいたい」「情報公開について市の前向きな

厚生委員会

審査事件

議案2案

審査の概要

第5号は、空き教室がある学校内へのルームの早期設置や、網戸の設置要望について、

環境経済委員会

審査事件

議案3件

審査の概要

緊急地域雇用特別基金事業継続の意見書提出等に関する陳情は、①雇用創出の追跡調査。②ハローワーク求職登録者の把握。③人材派遣会社への委託が雇用拡大となる考え。④雇用事業の当初目的の達成

建設委員会

審査事件

議案5案

審査の概要

第4号は、「やらないと効果がわからず、メリットが少ないので改正の必要はない」との反対討論、「何年後かに景気が回復し、市民も株がで

第7号は、周辺地域の取込み時期、坪井地区の計画見直し等の質疑、「全体的な下水道計画見直し中の提案には反対」との反対討論、「積算根拠は適正。効率性の点から公団委託は必要」との賛成討論があり、採決の結果小さな声ネ

第10号は、下水道事業推進の根拠、市内全世帯の非水洗化率等の質疑、「下水道から合併浄化槽への転換を検討すべき」との反対討論、「浸水対策等のためにも公共下水道の普及は必要」との賛成討論があり、採決の結果、小さな声

第1号は、全利用者に助成する理由、財源の確保、施設入所者で在宅を希望している人数等について質疑があった。討論は、反対の立場で「施設整備のほか、介護予防事業の充実等を検討し、財源を利用助成へどれだけ振り向けられるか議論が必要」、「条例案は、多額の財源が必要とな

文教委員会

審査事件

議案2件

審査の概要

教育予算増額の意見書提出に関する陳情は、少人数教育実施の考え方と財政措置について。教育環境を整えるのに必要な予算とその要求について等の質疑があった。

意見として、「教育委員会が、物理的環境や人的環境をどうするか意思が見えない。それらを明確にし、国・県に伝えることが大切であり、採決の結果、二件はいずれも採決と決した。(最終日には、意見書を可決)

三番瀬調査研究特別委員会

三番瀬の保全及び海辺の活用に関し、調査研究するため、「三番瀬調査研究特別委員会」が設置された。

委員会の構成は次のとおり
委員長 森田則男
副委員長 津賀幸子
委員 角田秀穂 高木明 村田一郎 伊藤昭博 佐藤重雄 佐藤新三郎 佐々木照彦 小石洋 池沢敏夫 さとうももよ 長谷川大

決算特別委員会

平成十一年度会計決算の認定十一件について、決算特別委員会を設置し、閉会中継続審査されることになった。

委員会の構成は次のとおり
委員長 斎藤忠
副委員長 中村洋
委員 角田秀穂 上林謙二郎 金沢和子 草野高徳 石川敏宏 滝口宏 米井昌夫 齊藤守 齊藤誠 さとうももよ 中村実 早川文雄

予算特別委員会

審査事件

議案2案

審査の概要

第1号は、多機能自然型による河川改修の考え方について。今後の用地買収について。上流部開発に伴う治水対策について等の質疑があった。

意見として、「教材費など父母が負担している部分があり、それらの軽減が、本来の義務教育無償に近づくので、採決」との発言があった。

採決の結果、2件はいずれも全会一致で採決と決し、意見書を可決することになった。(意見書の概要は2面に掲載)

議会運営委員会

議案1件

議案の概要

議場に国旗掲揚に関する陳情は、平成十一年第四回定例会に提出されたものである。今定例会においても、会派の態度は前回と変わらないことから、意見の表明を省略し、直ちに、継続審査とすることについて諮ったところ、日本共産党、市民連合、小さな声ネットワークの委員を除く多数で、継続審査とすべきものと決した。

ここがききたい 一般質問

緑政会

少子化対策について

問 現在作成中の子育て支援計画は、どこに重点を置いて作成しているのか。

答 現時点では、明確ではないが、多様な保育サービス及び地域の子育て支援体制の充実等が重要な位置を占めると考えている。

介護保険施設対策について

問 自治体の補助を抜きにし

問 本市の施設には、約一八

公明党

介護保険について

問 保険料満額徴収に向けた広報活動を伺いたい。

答 四十地区における出前講座等による説明会の実施、啓発ポスターの掲示及び、市広報への掲載等PR活動に努めている。

問 低所得者に対する在宅サービス利用助成の検討状況はどうか。

答 平成十四年度の導入に向け、対象者の範囲、実施方法等を具体的に検討している。

問 低所得者対策として、保険料の六段階方式を導入するべきと考えるがどうか。

答 平成十四年度に現計画の見直しを行い新たな計画を立てるため、部内で研究を進めている。

問 制度開始からの基盤整備の現状をどう評価しているか。

答 「高齢者保健福祉計画」



子育て支援体制の充実を(子育て支援センター)

た、地域社会や家庭等での身近な子育ての体験等ができる施策・プランが必要と考えるがどうか。

答 保育サービスの充実にとどまらず、子育てに関する意識啓発等についても計画に盛り込むよう検討したい。

%の市外入所者がいるが、本市に比べ近隣の施設数は少ない。待機者解消策として、施設建設促進だけではなく、近隣市への要望や

に対する施設整備目標達成率は、特別養護老人ホーム約八七%、デイサービスセンター約八五%、デイケアセンター約一四六%で順調に整備が進んでいる。

信頼される学校づくりを

問 御滝中学校前教頭による不正流用事件で、児童及び保護者の心のケアをどのように行うのか。

答 当該校である御滝中学校、飯山満中学校は、保護者に状況等を文書で説明し、生徒へは、始業式の中で状況を説明し謝罪をした。今後とも、PTA連合会や各学校に働きかけ、子どもたちの心の傷が一日も早くいやされるよう配慮していく。

問 運動会等の祝儀が流用される恐れがあるので、受け取ることをやめるべきではないか。

答 学校行事を行う時に、「業者」に祝儀や寄付を徴収

何らかの発信が必要ではないか。

答 他市に比べ本市の施設整備は充実しているが、他市にはそれぞれの施策があるため、要望することは難しいと考える。しかし、近隣五市の介護保険担当首長会

議で問題提起をしたい。

問 PFIを使った民間活用

答 既に、民間主導による整備の動きがあるため、考えていない。ただし、その整備状況に応じ、他の支援方法で対処していきたい。

答 生徒の動向を調査し、研究していく。

教師の在り方について

問 学校において、教師が困った場合の相談、対話はどのようになっているのか。

答 心の健康保持増進のため教職員メンタルヘルス研修会への参加や、県から配置されたスクールカウンセラーへ相談できる対応をしている。今後も、学校内での教職員の相談体制の充実に努めていく。

問 教師を総合的に判断する評価システムづくりが必要と考えるがどうか。

答 校長が教員を良く観察し、様々な角度から情報を集めて適切な判断をする必要があり、学校と十分情報交換する中で、問題教師に対応していく。

今後の道路整備について

問 船橋市における道路整備方法をみると、都市計画道路の整備が優先され、生活道路の交通静穏化対策が十分とられていない。可能である地域から、一方通行化

などの対策を進めていくと考えるが。

答 都市計画道路整備のみに依存しているわけではなく、既存道路の機能強化を図るため、主要交差点の改良やバスベイ設置等を併せて実施し、歩行者、車輦等の交通の正常化を図り、通過車輦が地区内道路に入らないよう整備を行っている。

問 整備済みの都市計画道路

周辺では、住区から発生する交通をその幹線系が受けていく基本パターンに沿った整備がなされているか。

答 近隣住区を囲む外郭の幹線・補助幹線道路のネットワークが整備できておらず、住区の基本パターンとして完成していないが、周辺道路の持つ機能を、路線ごとに役割分担することで、住区の基本パターンに近づけることは可能である。

問 コミュニティー道路整備に当たり、まちづくりの気運を高める取り組みは。

答 市政懇談会等でソフト面の道路整備を話している。

問 一般生活道路の中で、一方通行化や交通静穏化などの整備の優先地域や優先地

区を検討すべきではないか。

答 市民要望、道路パトロール等による道路状況を的確に把握し、四カ年計画に反映させている。

住宅の問題について

問 住宅建築資金利子補給の状況を伺いたい。

答 昭和五十三年から平成十二年度までの累計で、利用者約三千九百九十九件、補給金額が八千三百八十八万九千六百七十円となっている。

問 住宅建築資金利子補給は、住宅金融公庫の融資を受けることが要件となっているが、民間の住宅ローンのみでも対象とすることができないか。

答 本事業は良質な住宅整備の誘導策として住宅政策上の位置付けであり、良質な住宅への担保としているものである。

市民参加のまちづくりについて

問 市民参加システムの現状を伺いたい。

答 本年七月二日に、まちづくり活動に関する相談窓口を設置した。さらに、各種

団体へ出前講座を実施するとともに、まちづくりへの参加意欲のアンケート等を行なっている。

問 まちづくり活動の支援体制はどうか。

答 「まちづくり仲介組織」の設立や各団体等への助成制度の創設等を検討している。

問 市民と協働のまちづくりのため新たな条例の制定が必要ではないか。

答 各地域におけるまちづくり活動の進展等を考慮し、支援策の拡充や支援に関する条例の検討も視野に入れている。

乳児保育について

問 ブックスタート事業の実現を求める。

答 全妊婦に配付している子育て便利帳にブックスタート事業の趣旨を取り込むため、平成十四年度発行の改訂版に、子どもに読み聞かせたい本の紹介などを掲載する。また、各図書館等での読み聞かせに加え、各保健センターに子どものミニ図書館コーナーを開設し、読み

問 融資の要件として、納税要件は緩和できないが、独立開業資金の利用範囲の拡大については、千葉県信用保証協会と協議していく。

開かせの一層の普及を図っていく。

問 踏切道改良促進法の一部改正に伴い、踏切道の構造改良が大きく前進すると考えるがどうか。

答 道路管理者と鉄道事業者との協議がスムーズになり、鉄道事業者にも柔軟に対応してもらい、事業の促進になるものと期待している。

経済対策について

問 商工業の店主や事業主に対するIT活用講座の開

答 船橋商工会議所が実施する各種講演会や工業活性化事業などにおいて、中小企業に対する実践的なIT講習を支援している。

問 各種融資制度における要件の緩和策や独立開業資金の拡大などの見直しを図れないか。

答 融資の要件として、納税要件は緩和できないが、独立開業資金の利用範囲の拡大については、千葉県信用保証協会と協議していく。



市民の意見をまちづくりに生かすために(まちづくり推進課)

「託児ルーム」のお知らせ

本会議・委員会を傍聴している間、小さなお子さんをお預かりする「託児ルーム」が利用できます。

利用時間は午後0時45分から午後6時までです。利用される方は、前日の正午までに電話等でお申し込みください。

申し込み・問合せ 議会事務局
TEL 436-3012

日本共産党

保育業務の民間委託

問 公設民営を進めていくことにより、公のいい部分を切り捨ててしまうことになるのではないかと。

答 サービスをするに当たっては、今まで直営で培ってきたノウハウを生かしていきたいと考えている。

交通不便地区に配慮したコミュニティバスのルート案を

問 コミュニティバス導入検討委員会では、今年度中にルート案を出すこととなっているが、このルート案を提案するためには、交通不便地区に住んでいる一番困っている人たちの声を聞くことが重要ではないか。

答 平成十年度に行った「船舶市公共交通計画調査」のアンケートや市政懇談会等の要望を市民の声として反映していくとともに、市政モニターに対してアンケート調査を実施していく。この市政モニターは、年齢構成、地域のバランスもよく、交通不便地区の方々の意見も、この市政モニターの中で意見が出されるものと期待している。

商店街の振興策について

問 商店街の街路灯設置は、地域住民にも貢献している社会的な公共的な事業であるので、三分の一の地元負担金をなくし、公費で実施すべきではないか。

答 問接的には犯罪防止に役立っているが、直接的には商店会の活性化を図る効果が大きいことから、商店会が実施主体となるべき事業と考えている。

問 地元では、多額の負担がかかるので商店街の街路灯の設置ができないと言っている。今のようなり方を続けていたら不正は防げないのではないかと。

答 大変厳しい状況は把握しているが、毎年の要望の中でも、商店街から、街路灯を直してほしいという要望が非常に多いということであるので、まだそこまでの状況はないと思っている。また、不正については、同じような企業が受注しているということなので、厳密に調査し、精査したい。

障害者施設の運営等について

問 身体障害者福祉作業所の「太陽」が平成十四年度当初で定員いっぱいになってしまつたという状況であるが、重度の障害をもつ一番立場の弱い方に対してサービスを提供しているが、福祉の先進都市を目指す船舶とは言えないのではないかと。

答 今後、できる限り要望に沿った受け入れができるよう検討していく。

問 身体障害者福祉ホーム「若葉」の施設に整備されているリハビリ室等は、入居者にとり活用されていないようだが、これらの施設の有効活用が図れないか。

答 リハビリ室については、リハビリ用としての活用と

介護保険について

問 特別養護老人ホームの待機者数は、七月末で六百八十二名にふくれ上がっている。特別養護老人ホームの基盤整備計画の数値の見込み違いも、待機者を増やしている原因をつくり出しているのではないかと。目標数値の見直しをするべきではないか。

答 特別養護老人ホームの待機者を解消するための整備目標年度は平成十六年度であり、今の時点での八七％の進捗率は、順調だと思っている。一方で、全国的な施設指向が進んでおり、国でも対応を検討している状況なので、その結果を踏まえて考えていきたい。

問 川崎市では、施設サービスなどの幅広いサービスが助成対象になっているが、このような幅広いサービスを対象とした助成制度を目指しているのか。

答 サービスは幅広いが、対

象者が絞られているという実態もある。十四年度導入に向け、対象者の範囲、サービスをどこまで拡大するか、具体的検討を進めていきたい。

飯山満・七林線の安全対策を

問 船舶信用金庫前の十字路については、飯山満方面から来た車が複雑にすれ違う危険な交差点となっているが、安全対策はどうか。

答 この交差点については、歩道と車道に分離する計画を持つているが、改良工事を実施するには、まだ若干時間がかかると思うので、それまでの対策としてカーブミラー等の設置等を検討してきたい。

問 また、その十字路から七林線方面に行つたガソリンスタンド前のT字路も、見通しが悪く危険であるがその対策はどうか。

答 現況の中で解決できるものについては順次実施してきているが、さらに地権者の協力が得られれば、一部用地を買収し、歩行者の溜

まりスペースをとって、安全を確保したい。

後、協議を進める中で、その経過について十分注意を払ってきたい。

反映させるようにしたい。

歩道の整備について

問 市民からの強い要望である歩道整備や安全対策に際して、十カ年計画を市民参加で作成し、市民が納得できる整備を行うことができないか。

答 市民参加ということについては、財産権が深くかわる事業であり、地域の方が本格的に参加して合意形成を得ることは難しいと思うが、地域の方の意見を十分に聞き対応していきたい。

地方行政はどうあるべきか

問 今の船舶の行政は、職員からの知恵や外部からの知恵もあるだろうが、当事者

市民連合

バリアフリー法に基づく市の取組みを問う

問 店舗改装工事において、入り口に階段ができ、車椅子利用者が自由に利用できなくなつたという事例があるが、このような事態を防止することができなかったか。

答 店舗等のバリアフリーは、建築確認申請時に「千葉県福祉のまちづくり条例」に基づき指導しているが、当該店舗の改装工事は確認申請の対象となつていなかった。現在は、行政指導によりバリアフリーの協力が得られた。

問 バリアフリーのまちづくりを進める中で、福祉局だけではなく、全庁的に統一した行政窓口の設置が必要

ではないか。

答 「千葉県福祉のまちづくり条例」や「船舶市福祉のまちづくり整備指針」の徹底を全庁的に周知することが必要と考えている。窓口の設置については、関係部局と協議し検討する。

問 バリアフリー法に基づく移動円滑化基本構想の策定はどうか。

答 学識者、公共交通事業者、身体障害者団体、高齢者団体等で組織する基本構想策定検討委員会等を開催し、整備の緊急性の高い地区の抽出を行っている。

問 重点地区の位置及び区域を伺いたい。

答 船舶駅周辺地区を初め、八地区を重点整備地区候補として選定し、駅施設を中心に、官公庁施設や福祉施

ホームレス対策について

問 ホームレスについて、どのような認識を持っているか。

答 自立支援体制確立のため、広域的な対応を図っていくことが必要と考える。

問 ホームレス実態調査の考えはどうか。

答 近隣市を含む広域的な調査が必要であり、県と共同して対応するものと考えている。

問 緊急一時保護センター等、ホームレス自立支援システムの整備はどうか。

答 宿泊提供施設及び自立支援施設の設置を県に要望している。

れると思っている。

教育行政のあり方を問う

問 元飯山満中の教頭の使い込み事件で、当該教頭は懲戒免職となったが、最初の発見から一年間放置したという責任はどうするのか。

答 後任の教頭については、重大な過失と認識している。今回の責任問題については、次の教育委員会で協議される。

問 結核等生活習慣病を防ぐための定期的検診の強化が必要と考えるがどうか。

答 県との共同調査の中で、対応を考えていく。

通学路の安全確保について

問 交通事故が多発している山手二丁目大久保病院前交差点付近の安全対策について伺いたい。

答 登校時間帯のスクールゾーンへ外部車両が進入できないよう馬柵を設置できないか。

問 学校、PTA、地域の協力が得られれば可能である。



安全対策が急がれる山手二丁目交差点



市 清 会

海を活かしたまちづくりについて

問 先日、親水公園において花火大会が行われたが、市民にとっての親水公園は、花火の会場であり、まだまだ市民に愛される公園になっていないと感じられた。本市において、「海を活かしたまちづくりプラン」が掲げられているが、具体的計画の作成に地元の町会、企業、地権者の意見を聞いているのか伺う。

答 平成十二年度に、「海を活かしたまちづくり懇談会」を設置し、地元商店会、連合町会及び一般公募の市民十二名等を含め、合計六十三人で構成し、延べ十八回の懇談会を重ね基本的な方向性が提言された。今年度は、市民意識調査報告書等を基に、基本構想・計画を庁内関係各課と調整し策定していきたい。

問 船橋駅南口再開発ビルと海との回遊計画の具体的な計画内容を聞きたい。

答 再開発ビルを中心とした、山口横町や御殿通りといった裏路地、さらに大神宮等の施設を活用し、ネットワーク化による回遊性の創出を図っていきたく考えている。今年度は、基本構想・基本計画の策定作業中である。なお、三番瀬を活かした環境教育の場として「三番瀬ミュージアム」の構想があり、既に、国・県に要望している。また、臨海部の民間企業について、再

開発の機運も一部企業にあることから、その推移を見守っていききたい。

市立船橋高等学校運動部について

問 市立船橋高等学校の教育活動は、特にスポーツ部門において目覚ましい活躍をしている。本年度の全国高等学校野球大会の出場チームの中には、地元中学出身者だけで、甲子園出場を果たした学校があったが、今回の市立船橋高等学校野球部の登録選手は、市内の出身者がわずかであった。市内には、二十七の中学校があるが、スポーツ都市宣言の中、公立中学校の教育指導を充実させていくことが、地元にも愛され、親しまれる学校になると考える。今回の夏の県大会での野球部、熊本のインターハイでのサッカー部の市内・市外の登録選手数を聞きたい。

答 各種大会の選手登録者は、各試合により異なっている。本年度の千葉県大会の野球部については、二十名中、市内生徒二名。サッカー部総体については、十八名中、市内生徒二名であった。

問 今後、地元にも愛され、生徒が夢と希望を持った学校づくりにどう取り組んでいくのか。

答 本年度より、市内中学校の校長を招き、説明会を開いて特色や進路関係を中心に理解を深めてもらった。また、市内の進路指導担当者を対象とした協議会を設

け、市内中学生に対する理解を深める予定である。

新学習指導要領について

問 新学習指導要領導入に伴い、子どもの学力低下等の意見があるが、本市としては、どのように対応していくのか。

答 平成十二年四月に船橋市総合計画を策定した中で、教育の方向が示されているが、施策を具体化し教育改革を実現するため、「船橋市立学校等将来検討協議会」を設置し、官民一体となり取り組んでいる。

問 現場の指導者に対し、どのように指導していくのか。

答 平成十一年度より三カ年計画で、千葉県主催の小・中学校教育課程説明会に市内全教員を派遣し、趣旨の徹底を図っている。また、計画訪問・要請訪問で具体的な改善について指導・助言を行っている。

西船四丁目の済生会病院跡地利用について

問 平成十二年第四回定例会で、地域のまちづくり、町の再生に使えるとし、済生

会病院跡地の土地取得を要望した。最近の地価の下落により取得しやすい状況になったと考えるが、取得の可能性はあるのか伺いたい。

答 当該地を含む西船地区については、地域住民等から公共施設整備の要望が高い地区である。市としては、①駅に近く、利用価値が高い②街路の整備などまちづくりを進める上で必要度が高い場所である③当初協議会から要望された時期に比べ、公示価格が下落してきたこと、以上のことから、取得の方向で検討していきたい。

学校完全週五日制への取り組みについて

問 来年四月から実施される完全週五日制への移行は、土曜・日曜の家庭地域生活の環境整備が急がれていると考える。地域の受け入れ体制の整備として、児童ホームの対応について、自由に参加できる年間行事の見直しが行われているのか。



西船地区のまちづくりに活用が期待される済生会病院跡地



休日の子どもの環境整備を（松が丘児童ホーム）

と比べ約三割減の状況である。完全週五日制へ移行後もこの傾向は変わらないと考え、現在と同様、児童の健全育成に努めていきたいと考えている。行事については、トランポリン等の運動行事や乳幼児を対象とした親子教室等を行っている。今後も創意工夫をし、努力していきたい。

問 公民館については、地域における教養と文化を高め、地域住民の触れ合いと語らいの場として重要な位置付けと考えるが、どう対応するのか。

答 子どもの発達成長の学習の場として、自然観察、野外学習、地域行事への参加等の体験学習の拡充を図っていききたい。

問 図書館についてはどうか。

答 現在実施している「本とおはなし会」等を土・日においても実施するよう検討していききたい。また、施設面についても、分館の機能をもった公民館図書室の充実を図っていききたい。

問 町会自治会の役割はどうか。

答 町会・自治会が果たす役

小さな声 ネットワーク

高齢者の転倒による被害の予防と対策

問 「転倒予防教室」や保健婦の家庭訪問の際に効果のある、転倒時の事故防止の観点で、ヒッププロテクターの存在を知らせてはどうか。

答 ヒッププロテクターの普及についても今後研究し、転倒予防、寝たきり予防の拡充に努めたい。

市職員の旧姓使用について

問 国では、婚姻後も職場における旧姓使用を認めているという方向が打ち出されているので、本市においても、認めるべきではないか。

答 本市の都市公園等は、平成十三年四月現在、約六百カ所あり、このうち街区公園等の多目的広場等については、青少年の健全育成を図るためのスポーツ・レクレーション等の地域活動の場として、また、自然を活かした市民の森等については、自然体験やふれあい等を行う場として提供できるものと考えている。

分離信号の設置について

問 歩行者と車の通行時間を分離する、分離信号設置の

今後の具体的計画はどうか。

答 九月二十一日から行田西小学校前交差点で開始予定である。さらに、本年度中に、高根台第三小学校前、習志野台第二小学校前にも設置を予定している。

問 広報ふなばし、交通安全の啓発等で分離信号のシステムを広報し、見切り発車しないよう車の運転手に注意を呼びかけたらどうか。

答 システムの周知、呼びかけの徹底に努めたい。

環境基本条例と市の実態

問 平成九年に示された環境基本計画の抜本的な見直し作業が必要ではないか。

答 計画策定後に新たに発生した環境問題、法律の制定や改正、中核市への移行に伴う問題等を調査し、見直しのための準備を進めている。

問 屋上緑化についての具体的な取り組みはどうか。

答 商業地域の宅地開発では、



屋上緑化に取り組む市福祉ビル

屋上緑化も可能な規定を設け、協議、指導を行っている。現在、工事施行中の船橋駅南口再開発ビルにおいても屋上緑化を予定している。

問 鎮守の森保全についてどのように考えているか。また、現在の保全はどのような行われているか。

答 良好な樹林地や樹木を指定し、助成を行っている。さらに、緑の基本計画では、緑化重点地区内にある社寺林をより積極的に保全すべきと位置付けており、緑地保全地区指定なども含めた保全施策を図っていききたい。

山崎別荘の復元について

問 行政内部だけで検討・計画するのはなく、もっと広く人材を集めて整備検討を行うことはできないか。

答 施設整備に当たっては、できる限り、市民の意見を取り入れていきたい。

問 この緑地整備について、まちの景観整備などを担っているまちづくり推進課などとの整合性が必要と思われるが、連携して計画づくりをする考えはないか。

答 大神宮や東船橋緑地を含めた地域を「東船橋緑化重点地域」に位置付けているので、この整備計画の中で配慮していききたい。

《用語の解説》

- 三番瀬ミュージアム 自然生態系園や観察舎等の整備
- ヒッププロテクター 転倒時に大腿骨頭部を守るための保護具

新風

経済振興補助金のあり方は

問 商店街街路灯設置事業費補助金の不正受給について、なぜ書類チェックができなかったのか。

答 工事の見積書、契約書、請求書、領収書が二重につくられていたため発見できなかった。

問 その他の商店会への調査及び請負業者に対し、どのような指導を行ったか。

答 現在、平成十二年度までの過去六年度分の二十二商店街、二十五件について調査を行っている。業者については、不正行為の事実確認と併せ厳しく指導した。

問 収支決算報告書の提出等の善後策をとるべきでは。

答 新たに資金調達に関する審査及び商店会全体の収支

決算報告書の提出を検討している。

問 耐久性向上のため、修繕等のメンテナンスに対する補助制度の考えは。

答 補助できるような検討していきたい。

退職教員の活用策を図れ

問 経験豊富な退職した教職員を、放課後ルーム、学校施設の開放及び部活動等の管理運営に生かす考えは。

答 予算、身分及び各種保証の問題等を検討し、多様な可能性を考えていきたい。

住民基本台帳のネットワーク化について

問 市民情報の悪用、プライバシーの侵害への対応及び杉並区で提案する「国などへの情報発信拒否も視野に

入れた条例案」の必要性についての見解はどうか。

答 国の推移を見守り、「船橋市個人情報保護条例」及び「船橋市電子計算組織等処理データ管理規程」により対応したい。

問 本年度から多額の経費をかけシステムの整備を行うが、経費に見合うシステムと考えているのか。

答 国の人口規模によるネットワークシステムに参加する負担と考える。

問 個人情報漏れた場合の補償等の問題の考えは。

答 一般論としては、司法の判断によることになり、市職員がかかる場合は、市の責に帰すると考える。

保育園の不足対策について

問 保育園の入所率が定員の二二・五%の園と、大きく下回る園とのアンバランスに対する対応をどう行っているのか。

答 国において、保護者が保

育ステーションに児童を送り、保育士が空いている保育所とステーションの間をバス等により送迎する

「送迎保育ステーション」の整備を掲げている。今後この事業の動向を見守りたい。

問 育児休業及び部分休業の対象となる子どもの年齢が満三歳まで延長された場合、入園者が減ると考えるが、

答 制度ではない企業や保育園入園の四割強の保護者が、育児休業を取らないパート就労であることから、激減しないと考える。

問 市内幼稚園の定員に余裕があることから、保育園の年長児を幼稚園に誘導することにより保育園不足及び小学校入学時の児童レベルの違いが解決するのでは。

答 それぞれ児童福祉法、学校教育法により位置付けられていることから、共用化は進んでいない状況である。しかし、社会的要請が高ま

っているため、今後研究していきたい。

学校教育について

問 県内唯一、各中学校に理科実験事務員を市の予算で配置しているが、導入時期とその理由を聞きたい。



興味深く実験に取り組む中学生

答 昭和四十五年頃、理科教育の充実のため、中学校六校に実験・観察の準備等の補助として配置した。

問 他市の理科授業と比較し、実験や観察の頻度はどうか。

答 多く実施されていると認識している。

問 興味・関心はどうか。

答 思表示を議会ですることから、問題ないと思える。教育委員会としてどう考えるか。

答 教育委員会は、合議制の

無所属

建設工事の契約保証について

問 契約保証五分の適用率を伺いたい。

答 平成十二年度で、現金保証九・五%、有価証券保証〇%、金融機関等の保証八・八%、履行保証三・七%、履行ポンド四九%である。

問 現金と有価証券以外の契約保証の確保方法は。

答 金融機関等の保証は保証書で、履行保証は保険証券で、履行ポンドは保証証券で確認している。

問 損保会社の経営状況も確認するべきではないか。

答 会社の信用調査を時々行

い、十分注意していく。

小型自動車競争事業の改善を

問 経営改善検討委員会中間報告書の指摘事項の対応は。

答 経費削減として、賃金ベロースアップの凍結、一時金削減の実施及び窓口体制の見直しなどを行っている。また、売上向上策として、船橋ケーブルテレビの活用や、施設見学券の配布などを行っている。

お知らせ

市民と議会をつなぐ役割を担うのがこの「市議会だより」。議会を身近に感じてもらえるよう、より読みやすく、わかりやすい紙面づくりに取り組んでいます。

市議会だよりに対するお気づきの点がありましたら、下記までご意見等をお寄せください。

船橋市湊町2-10-25
船橋市議会 広報編集委員会
電話 047(436)3012
FAX 047(436)3013

～次の定例会は
12月3日開会の
予定です～